



## 第2会場● 2F 自由研修室

■司 会／石井 瞳基 大分県教育庁生涯学習課 社会教育主事  
葛山 克司 鳥取県教育委員会事務局 家庭地域教育課 社会教育主事

### 分科会の進め方

10:45～10:50

#### 1 町で学び、町で生かす：総合的学習とまちづくり—学校は地域の中へ、地域は学校の中へ— 10:50～11:20

緒方友希（熊本県宇城市小川町）宇城市立小川小学校 教諭

自治公民館活動の盛んな土地柄を生かし、平成17年度から、学校が地域と連携し、「ふるさと小川を愛する子ども」の育成を目指して、学校は総合的な学習時間を中心に、まちづくりを課題の柱に、地域は“商店街の活性化”を目標に、学校、商工会、PTAを中心に地域の人材を巻き込んだ「町でかがやく小川っ子」をテーマに様々なプログラムを展開している。

#### 2 「天山自然塾」

11:25～11:55

小森喜紹（佐賀県小城市）NPO法人「天山ものづくり塾」理事長

ものづくりを通じて「創」、「食」、「遊」の3種の体験を親子に届けたいと2004年から開講した。小城市教育委員会の協力を得て、会場に休校中の「分校」を活用し、自然、親子、共同作業などをキーワードにしている。活動期間は7月～12月の月1回、第3土曜日。講座で製作した染色、陶芸などの様々な作品は、美術館や公民館などで発表している。

#### 3 ひこさん「山伏塾」の体験プログラムの内容と構成—長期移動キャンプの実践をとおして— 12:00～12:30

井関浩久（福岡県）福岡県立英彦山青年の家 主任社会教育主事

H14年の開始時は4泊5日、現在は9泊10日に延長した夏季休業中の長期キャンプ。自然の中の共同生活をとおして、「耐性」、「自立性」、「協調性」を育成し、合わせて「郷土文化の体験」や「就業体験」を行い、郷土への思いを深めさせ、働くことの意義を理解させることを目的としている。徒歩での移動を柱にプログラム構成を行い、青年の家に所属する学習ボランティア「やまびこ」と協力して展開している。